

国立情報学研究所(NII) 学術ポータル担当者研修 講義(1)「学術情報流通の現状と課題」

日時:2012年8月1日(水)～3日(金)／2012年8月22日(水)～24日(金)

会場:名古屋大学附属図書館／国立情報学研究所(NII)

講師:岡本真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)



本講義の目的と構成

- 目的：
 - 最低限の共有事項をつくるため、認識の一致を図る。
- 構成：
 - 学術情報流通の現状
 - 学術情報流通の課題
 - 本研修の全体計画－現状と課題を前提に



本研修の全体計画－現状と課題を前提に

○ 目的:

1. 最新のWeb 技術やコンテンツ、サービスに関する知識を習得する
2. それらを活用した新たな学術情報の提供・発信サービスの企画力を身に付ける契機とする

○ 目標:

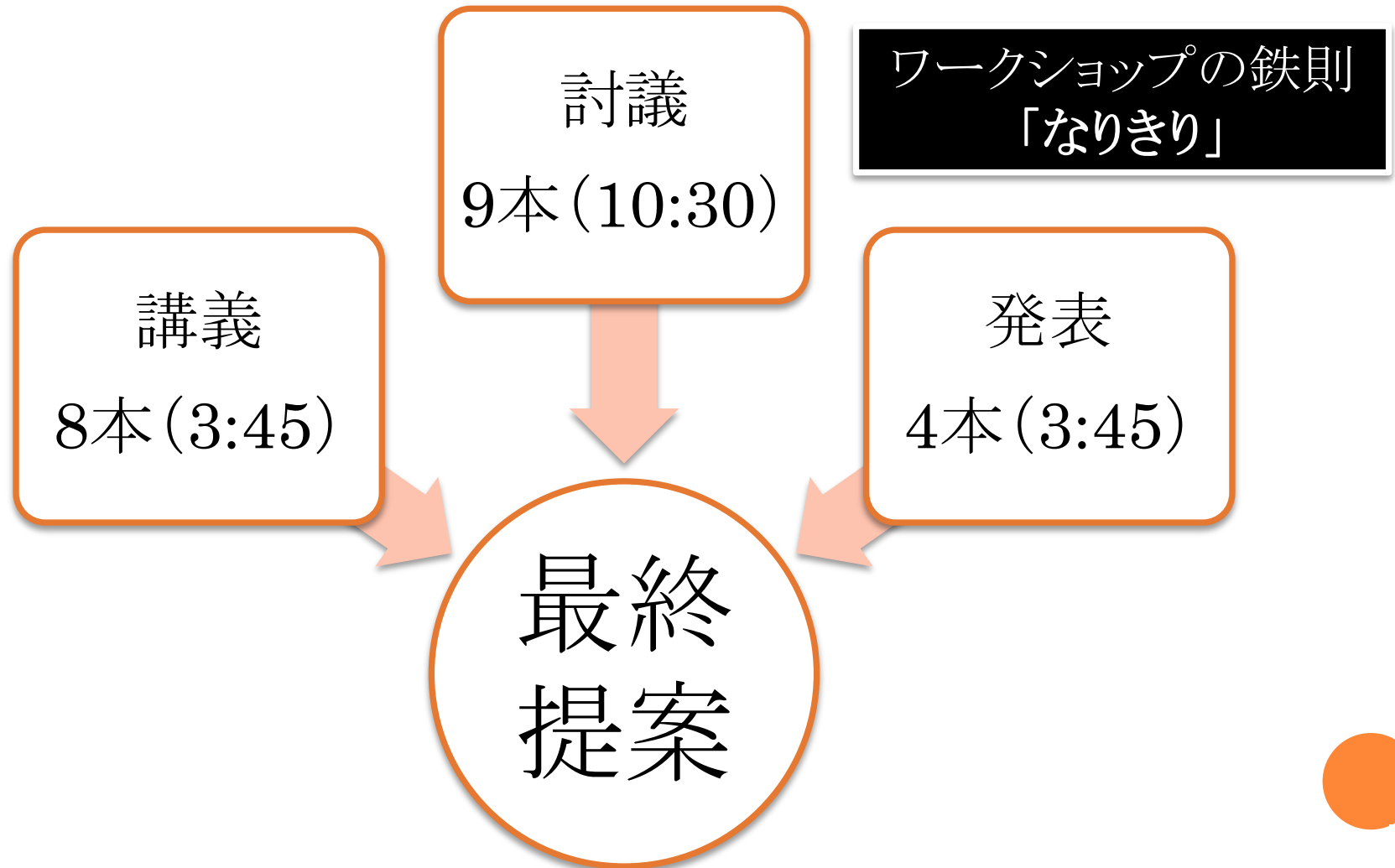
- 最新のWeb技術や情報サービスの概要を理解し、所属機関において必要とされる新たな学術情報の提供・発信サービスを企画立案できるようになる

○ 方法:

- 実際に存在するウェブサービスを事例として取り上げ、そのサービスの改善を図る、あるいは同様のコンセプトを持つ新たなサービスの開発を促す企画提案書(館内・学内での承認を得るための書類)と、要求仕様書(企画提案書の承認を前提に、主に学外の開発受託ベンダーに要求事項を伝えるための書類)を作成する。
- その際、グループ討議を中心とし、ファシリテーターとしての講師陣を交えたワークショップ形式で実施する。



本研修の全体計画ーワークショップの重視



「企画立案」のイメージ

- 方向：
 1. 既存サービスの改善
 2. 新規サービスの提案
- 方法：
 1. 企画提案書
 - VMSOとモックアップ:講義(7)参照
 2. 要求仕様書
 - モックアップと論理表現:講義(8)参照
- 目安：
 1. 企画提案
 - 組織内部の人間が理解できる
 2. 要求仕様
 - 組織外部の人間が理解できる



研修の成果を最大化するためのお願い

- 研修の可能性と限界
 - 3日間のできること
 - 3日間ではできないこと
- フォローアップの重要性
 - 独力の限界
 - 仲間とのネットワークの有難さ
- ツナガリ形成をサポートする手立て
 - Twitter #学術ポータル担当者研修
 - 講義はUSTREAMで中継・保存
 - Facebook - NII学術ポータル担当者研修同窓会グループ
 - 名古屋、東京両方の受講者が参加(任意)
 - 2011年度の受講者も参加中



3日間、頑張りましょう！

国立情報学研究所(NII)
学術ポータル担当者研修
講義(1)「学術情報流通の現状と課題」

日時:2012年8月1日(水)～3日(金)／2012年8月22日(水)～24日(金)

会場:名古屋大学附属図書館／国立情報学研究所(NII)

講師:岡本真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)

